



平成26年1月1日 修正会にて修正会に参拝された檀信徒の皆さん

午年はいつから

平成26年は、干支では甲午きのえ・うまに当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせる年を数えます。

十干は

甲きのえ・乙きのと・丙ひのえ・丁ひのと・戊つちのえ・己つちのと・庚かのえ・辛かのと・壬みずのえ・癸みずのと

十二支は

子ね・丑うし・寅とら・卯う・辰たつ・巳み・午うま・未ひつじ・申さる・酉とり・戌いぬ・亥い

といます。

中国暦における年の数え方ですから、中国暦の新年から午年うまどしになる訳です。そのため旧正月の日、つまり西暦2014年1月31日から午うま年どしです。

年末大掃除

平成25年12月22日に、華頂婦人会の役員の方に、年末の大掃除をして頂きました。

境内や墓地をきれいにして頂きました。



平成 25 年 12 月 22 日 華頂婦人会役員の方々に年末の大掃除をして頂きました

年末大掃除

平成25年12月23日に、総代会の役員の方に、年末の大掃除をして頂きました。

墓地の側溝掃除や本堂・玄関・鐘楼・山門などをきれいにして頂きました。



平成 25 年 12 月 23 日 総代会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました

住職の短歌

平成24年に詠んだ短歌の続き([前回](#)は25年12月号)を掲載します。

梅雨空の滋賀の平野の色淡し霞む町並み曇る山々

夏の夜の雄琴温泉露天風呂語る話は互ひの家族

梅雨の日の朝の琵琶湖の波静か漁の小船の二艘三艘

飯田線林の中の無人駅ホームの端に赤き紫陽花

雨の日の紫陽花小道二人行く青紫の色は誘惑

七月の緑の光伊吹山熱き思ひに我も応へむ

夏風にゆるりゆるりと揺れて居る小百合の如き君ぞ恋しき

合歓の木の薄紅色の花を見る梅雨の晴れ間のランチの後に

地平線その果てまでも向日葵の花咲いて居るイタリア映画

梔子の白き花咲く庭に来て君の語りを聴くも嬉しき

梅雨明けの街の信号青になる日傘の人の強き腕振り

夏の朝叫ぶが如き蟬の声宇宙と名乗る公園の中

慰めは赤の花房百日紅燃ゆるが如き夏のただ中

普仙寺朱印

檀信徒の皆様から、普仙寺の朱印を頂けますかと、お尋ねがあります。ご希望の方はお申し出下さい。記帳捺印させて頂きます。また、貼り付け用紙でも授与させて頂きます。



普仙寺の朱印普仙寺は法然上人三河二十五霊場第十一番の札所です

寺行事案内

土曜礼拝どようらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

1月11日からは

- 前編第13章 二行得失
- 前編第14章 専修念仏
- 前編第15章 信行双修
- 前編第16章 他力念仏

住職説教じゅうしよくせつきょう

平成26年1月25日(土)午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年(1212)の正月25日の正午、大谷の禅房(現在の知恩院勢至堂の場所)にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

寒念仏かんねんぶつ

平成26年2月1日(土)午前7時30分～8時

暦でいう寒中の間のお参りを、寒参り、寒詣で、寒行といいます。浄土宗では特に寒念仏と呼んで、お参りします。ぜんざいの御接待をします。

※寒中(本年は1月5日から2月3日まで)

善光寺如来縁日ぜんこうじによらいえんにち

平成26年2月8日(土)午後7時より

月並み要法にて善光寺の御詠歌をお唱えします。

月並法要つきなみほうよう

平成26年2月8日(土)午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

御忌法要ぎよきほうよう

平成26年2月22日(土)午前11時～午後3時

◇法要 午前11時～

◇法話 午後1時～2時豊橋市 高林寺 山下裕通師

◇詠唱奉納 午後2時半～

法然上人の忌日法要を御忌ぎよきと呼びます。普仙寺ではこの地方の習慣に倣い、月遅れでお勤めします。